

令和7年度第3回鮫川村地域公共交通協議会会議録

<開催概要>

■日 時：令和7年8月22日（金） 14：57～15：50

■場 所：鮫川村公民館 大集会室

■出席者：〔鮫川村地域公共交通協議会委員〕出席12名
（うち代理出席2名）

〔事務局〕4名

村づくり推進室：船木室長、水野係長、佐藤主任主事、薄葉主事

■配布資料：第3回鮫川村地域公共交通協議会 次第等

進行：室長

《 次 第 》

1. 開 会

【事務局】

本日は大変お忙しい中、お集りいただきありがとうございます。

定刻より若干早いですが、本日出席の委員が揃いましたので、ただ今より、令和7年度第3回鮫川村地域公共交通協議会を始めさせていただきます。私、本日司会を務めさせていただきます、村づくり推進室の船木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日ご出席いただいております委員は、22名中、12名でございます。半数以上のご出席をいただいておりますので、鮫川村地域公共交通協議会設置要綱第9条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

なお、オブザーバーの各課長等につきましては、本日欠席となっております。それでは、本協議会会長の板垣良夫よりご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

鮫川村地域公共交通協議会会長の板垣です。

本日はお忙しい中、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本日の会議では、これまで実施してきたデマンド交通の実証事業の結果について、事務局よりご報告いただきます。その上で、10月から予定している本格運行に向けて、具体的な課題や運行体制についてご協議いただきたいと考えております。また、併せて、第1回協議会でも議題となりました福島交通路線バス「宝木経由鮫川線」の減便についても、地域の実情を踏まえた対応を検討してまいりたいと思います。

地域公共交通は、村民の皆さまの日常生活を支える極めて重要な基盤であり、移動手段の確保は安心して暮らせる地域づくりに直結いたします。協議会

委員の皆さまには、日頃の地域でのご経験や専門分野の知見をもとに、率直で建設的なご意見を賜りたいと存じます。

本協議会を通じ、村民一人ひとりが将来にわたり安心して利用できる持続可能な交通体系を築いていけるよう、共に知恵を出し合ってまいりたいと思います。どうぞ本日も活発なご議論をよろしくお願いいたします。

3. 議事

報告第1号 令和7年7月までのデマンド交通実証事業結果について

報告第2号 地域フィーダー系統計画認定申請について

報告第1号、第2号について、資料を事務局より説明

【会長】

70歳以上が56%であり、高齢者のニーズが高いことがわかる。利用目的としては、埴厚生病院の通院利用に使用している。

【委員】

システムについて福祉施設からの利用に対応できていないとのことだが、施設の人が朝、雨が降っているため利用したいと要望があったが、当日朝の時点ですでに予約が埋まっており、利用できないという実態がある。夕方の帰宅時間についても同様であり、利用したいと思っても利用ができない。

また、タブレットを設置していたが、施設利用者がタブレットを操作してしまい、別のページを開いてしまった事例があり、利用が難しいと判断した。現在は使えないようにしている。

【委員】

埴厚生病院の利用が多く、時間帯についても朝8時～9時、その後13時～15時の利用が多いとのことだが、病院の状況によると思うが、お昼ごろに診療が終わると考えられる。13時～15時まで滞在しているという点から、付近で買い物等をしていることはあるのか。

【KSC】

アンケートの結果から、病院以外にも、買い物で利用している利用者も一定数いると考えられる。

議案第1号 令和7年10月からのデマンド交通本格運行について

(1) デマンド交通運賃改正について

(2) デマンド交通予約システムの廃止について

資料を事務局より説明

【委員】

変更後の区分について、変更前と特に相違はないか

【事務局】

相違はない。変更前・後で比較するため、同じ区分で記載している。

【委員】

変更後の年齢表記はひとつにまとめてもよいのではないか。

【会長】

今回は比較しやすいよう、同じ区分で表示しているが、実際周知する場合は、見やすい料金表に修正する。

【委員】

今後、電話予約のみとするとのことだが、別のシステムやネット予約などの導入は考えているか。

【事務局】

すぐにではないが、現状のシステムのような即時予約には対応が難しいため、個人のスマホ等から予約ができるようなシステムの導入について検討していく。

【会長】

村としても DX 推進の流れや高齢者のスマートフォン所持率が高まっている状況を踏まえ、デジタルの導入は進めていきたいと考えている。

【委員】

参考情報として、他自治体の協議会では、高齢者もスマートフォンを所持しているため、それを活用した取り組みを行うべきと委員から意見が上がっている。全国的にデジタル化の流れが進んでいると感じる。

【委員】

90 歳以上の方がデマンド交通を利用しているが、耳が遠いため、会話が一方通行になってしまっている。日にちの勘違いや予約の有無など、間違いが発生している。高齢者との予約の確認について、何か対応してもらえることはあるか。

【委員】

運行者としても、予約の意思疎通が十分でないケースがあった。

【会長】

今後、高齢者との予約確認の方法等、事務局に検討をお願いする。

異議なしのため承認

議案第 2 号 宝木経由鮫川線の減便について

資料を事務局より説明

【委員】

朝の時間帯は学生が主である。減便については、石川町にも関わってくる問題であるため、鮫川村と石川町で検討してほしい。

【会長】

石川町と協議を進めているとのことだが、内容について共有できるものがあれば教えてほしい。

【事務局】

石川町としては、石川町内での学生の利用があるため、減便については慎重に判断したいとの意向であった。引き続き、協議を重ねたい。

【委員】

地域によっては事業者がいない等のハードルがあり、全員が満足することは難しい。協議のうえで良い着地点を見つけてほしい。そのうえで、減便となった場合でも、住民や利用者で困っている人がいないか、隠れたニーズにも耳を傾けてほしい。

【委員】

減便をするということは、提案している時間帯は村内を走らなくなるという理解でよいか。

【事務局】

そのとおりである。仮に石川町は続けるとなった場合でも、村内までバスは来ないことになる。

【委員】

宝木経由鮫川線の他の時間帯については、利用はあるか。

【会長】

朝の時間帯について、363回の村内利用があり、通学に利用されている。また、往路16:00についても129回の村内利用があり、同様に通学利用である。その他については、少ないが利用があり、往復の運行等を考慮し、今回の提案に至った。

異議なしのため承認

5. その他 次回開催日程

令和8年2月を予定しています。

日時につきましては、改めて皆様に通知いたします。

【会長】

10月から本格運行をするにあたり、もう一度改めて周知する必要があると感じた。広報等を活用して情報の発信を行ってほしい。

6. 閉 会